

保護者の皆様へ

# 就学の手引き

～子どもたち一人一人によりよい学びの場を～



嬉野市では、様々な要因で日常生活や学習面で支援や配慮を必要とする子どもたち一人一人が、将来自立し社会参加していくことを目指して、その可能性を最大限に伸ばすための教育と支援のあり方について保護者と十分に話し合いの時間をもち、よりよい学びの場を決定するために就学相談を実施しています。

嬉野市教育委員会

# 通常の学級

通常の学級は、1年生は1クラス35人以下です。  
担任の先生は1人です。  
時間割にそって学習します。



## 1年生の時間割(例)

※学校によって違います。

### ○学習内容

- ◎1年生で学習する教科は国語、算数、生活、音楽、図工、体育、道徳、特別活動です。
- ◎授業時間は、通常45分です。



### ○給食時間

給食当番はエプロンに着替えて配ぜんから片付けまで行きます。食べる時間はだいたい20分間ぐらいです。

### ○掃除時間

決められた場所を役割分担して掃除します。

こうじ校時	げつ月	か火	すい水	もく木	きん金
あさ朝の会					
朝の行事	えいせいけんせい衛生検査	どくしょ読書タイム	さんすう算数タイム	こくご国語タイム	おんどうく音読タイム
1	どうとく道徳	こくご国語	さんすう算数	こくご国語	さんすう算数
2	せいかつ生活	せいかつ生活	こくご国語	さんすう算数	がっかつ学活
3	こくご国語	さんすう算数	たいいく体育	すこう図工	こくご国語
4	おんがく音楽	こくご国語	おんがく音楽	すこう図工	たいいく体育
きゅう給食(45分)					
ひるやすみ昼休み(45分)					
そうじ掃除(20分)					
5	こくご国語	たいいく体育	こくご国語	せいかつ生活	しょしゃ書写
かえりかい帰りの会					

### ○朝の会・朝の行事

健康観察や朝の準備をし、1日の予定を確認します。

### ○休み時間・昼休み

◎各校時の間の休み時間内にトイレに行ったり、教室を移動したり、体育の前には着替えをしたりします。

◎昼休みは、運動場で遊んだり読書をしたり好きなことをして過ごします。



### ○帰りの会

一日のできごとを振り返ったり、明日の連絡を聞いたりします。

○下校…1年生や2年生と一緒に下校します。(入学してすぐは先生方がついてこられます)

※放課後児童クラブの利用や放課後等デイサービス(受給者証が必要)の利用も考えられます。



# 通級指導教室

通級指導教室は、通常学級に在籍する児童生徒を対象に、特定の学習へのつまずきや生活面で困っている状態の改善と苦手な部分の克服のために週に1～3時間個別指導を行うところです。

嬉野市内には「ことばの教室」と「まなびの教室」があります。

通級指導教室が設置されていない学校には、担当職員が出向いて指導します。費用はかかりません。

## 「ことばの教室」

ことばの検査や発達検査が必要です

カ行、サ行、ラ行などがうまく出ない。



たかな



ダッパ

ことばの数が少ない。幼児語が出る。

こんなことはありませんか？

音を繰り返したり、詰まったり、伸ばしたりする。

話すことが苦手で、うまく人とコミュニケーションが取れない。

こんな指導をしています

- ◎正しい発音の練習をします。
- ◎温かい雰囲気の中で楽しく話せるように練習します。
- ◎話すことや読むことに自信を持てるように指導します。



## 「まなびの教室」

発達検査が必要です

- ・じっとしていることが苦手。
- ・話を最後まで聞くことができない。
- ・人の行動をさえぎったり邪魔したりする。
- ・手足をいつも動かしている。



- ・順番を待てない。
- ・自分の話ばかりする。
- ・こだわりが強い。
- ・コミュニケーションのとり方がよく分からない。

こんなことはありませんか？

- ・集中力がない。
- ・忘れ物が多い。
- ・気が散りやすい。
- ・よく物をなくす。



- ・はさみや箸がうまく使えない。
- ・ひらがなの読み間違いが多い。
- ・形を写すことが苦手。

こんな指導をしています

- ◎自分の感情や行動をコントロールできるように学習をします。
- ◎見通しをもった行動ができるよう学習します。
- ◎その子の状態に応じて、得意なところを伸ばし苦手なところを克服できるよう指導します。

## 特別支援学級

特別支援学級では、少人数で一人一人に応じた指導を行います。

1日の約半分の時間は支援学級で活動します。

### 知的障害特別支援学級

発達検査が必要です



知的発達の遅れがあり、人との意思疎通が難しく、日常生活を送る上で困り感を持っている児童生が対象です。

- ・国語や算数などの教科が苦手。
- ・理解に時間がかかり、学習したことをすぐに忘れてしまう。
- ・場の状況がうまく理解できない。



#### こんな指導をしています

- ◎ 通常の学習が難しいときは、その子にあった内容でじっくり時間をかけて学習します。
- ◎ 教科の学習の他に、生活の自立ができるようにするための指導の時間があります。
- ◎ 通常の学級の子どもたちとも一緒に学習や活動をしたり、交流したりします。

### 自閉症・情緒障害特別支援学級

医師の診断書と発達検査が必要です

集団生活やコミュニケーションのとり方に困り感があり、興味関心の偏り、特定のものにこだわる、などの特徴をもつ児童生徒が対象です。



- ・感覚が敏感(音、食感、触られるのを嫌がるなど)である。
- ・相手の気持ちを読みとれず、場にそぐわない言動をしてしまう。
- ・視線が合わない。
- ・急な変更に対応できない。
- ・会話がオウム返しで返ってくる。



#### こんな指導をしています

- ◎ 各教科の学習は、その子の状況に応じて学習方法や教材を提供して進めます。内容は、通常学級と同じです。
- ◎ 人とのかかわり方や自分の気持ちの伝え方、自分の考えと違う場合の対処のしかた、感情のコントロールなどを学ぶ「自立活動」の時間があります。
- ◎ 通常の学級の子どもたちとも一緒に学習や活動をしたり、交流したりします。

他にも、対象児童生徒の困り感に応じて難聴学級・弱視学級・肢体不自由学級、病弱学級などが設置されます。

支援学級で学ぶ必要があるかどうか、毎年検討を行います。どこで学ぶのがその児童生徒にとってよいかを、みんなで考えます。

# 特別支援学校

## 特別支援学校と普通学校の違いは…

障害の程度がより重い児童生徒を対象とした学校です。  
 障害の種類に応じて「視覚障害」「聴覚障害」「知的障害」「病弱・身体虚弱」「肢体不自由」などを対象とした学校があります。佐賀県には9校の特別支援学校があります。

- 特別支援学校には、幼稚部(盲学校とろう学校のみ)・小学部・中学部・高等部があります。寄宿舎があるのも特徴です。
- 1クラスの人数は…障害が一つの場合6人まで。障害が重なる場合は3人までです。(小学部)
- 学習は…国語、算数など通常の学校で学ぶような教科をより分かりやすく身につけるために「生活単元学習」「自立生活の指導」「遊びの指導」「作業学習」を合わせた指導の形で学習しています。また、学習や生活の基礎となる力を「自立活動」という教科で学びます。

※特別支援学校への就学を希望される方は、教育委員会で実施される就学相談を受けた後、**特別支援学校で行われる「転入学相談」**も受けることになります。

## 佐賀県内の特別支援学校一覧



学校名及び連絡先	設置学部				訪問教育の有無	障害の種類				
	幼稚部	小学部	中学部	高等部		視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱
佐賀県立盲学校 〒840-0851 佐賀市天祐一丁目5番29号 TEL 0952-23-4672	○	○	○	○		○				
佐賀県立ろう学校 〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田321番地 TEL 0952-30-5368	○	○	○	○			○			
佐賀県立金立特別支援学校 〒849-0906 佐賀市金立町大字金立2339番地2 TEL 0952-98-1135		○	○	○	○				○	
佐賀県立大和特別支援学校 〒840-0213 佐賀市大和町大字久留間3353番地 TEL 0952-62-1221		○	○	○	○			○		
佐賀県立中原特別支援学校 〒849-0101 みやき町大字原古賀7262番地1 TEL 0942-94-3575		○	○	○	○			○	○	○
佐賀県立中原特別支援学校鳥栖田代分校 〒849-0101 三養基郡みやき町大字原古賀7262番地1		○	○					○		
佐賀県立伊万里特別支援学校 〒848-0023 伊万里市大坪町丙1427番地 TEL 0955-23-8554		○	○	○	○			○	○	
佐賀県立唐津特別支援学校 〒847-0002 唐津市山本788番地12号 TEL 0955-78-2394		○	○	○	○			○	○	
佐賀県立唐津特別支援学校好学舎分校 ※児童心理治療施設 〒847-0001 唐津市双水2787番地1		○	○							○
佐賀県立うれしの特別支援学校 〒849-1425 嬉野市塩田町大字五町田甲2877番地1 TEL 0954-66-4911		○	○	○	○			○	○	
佐賀大学教育学部附属特別支援学校 〒840-0026 佐賀市本庄町大字本庄正里46番地2 TEL 0952-29-9676		○	○	○				○		

# 就学に関する相談Q & A

詳しくは嬉野市教育委員会ホームページにも掲載されています。ご覧ください。



## Q 1 就学について、どこに相談すればいいですか？

A 1: 嬉野市教育委員会 (0954 - 66 - 9128) に相談してください。

また、佐賀県立うれしの特別支援学校 (0954 - 66 - 4911) でも相談を行っています。

嬉野市に在住している次年度就学予定の子どもがいる全家庭に、就学相談の案内を配布します。

申込みは、通所している園や教育委員会で受け付けます。

## Q 2 小学校を見学することはできますか？

A 2: できます。

市内の小学校の見学については教育委員会に相談するか、直接小学校へ連絡して、見学したいことを伝えて日程の調整をしてください。特別支援学校の見学については直接特別支援学校へ見学希望を伝えてください。

## Q 3 特別支援学級に入ると通常の学級で学ぶ機会はないのですか？

A 3: あります

特別支援学級に在籍する児童は、交流及び共同学習として、教科学習の時間、学校行事、給食、掃除、学年・学級活動等の機会を通して、通常の学級(交流学級)の子どもたちと一緒に活動します。どの時間に交流及び共同学習を行うかは個人に応じた時間割を作成します

## Q 4 入学後に通常の学級から特別支援学級に、特別支援学級から通常の学級に転級することができますか？

A 4: 転級することは可能です。

毎年、子どもにとってよりよい学びの場がどこであるかを学校と保護者で話し合い、確認します。

その後、学校から提出された内容を基に嬉野市就学支援委員会で協議をし、その判定結果を基に保護者と相談の上、次年度の学びの場を最終決定します。

## Q 5 通級指導教室へは保護者が送迎しなければいけませんか？

A 5: 保護者の送迎の必要はありません。

指導者が、対象児童生徒が在籍する学校へ出向いて指導をします。



◎分からない点やご質問は・・・嬉野市教育委員会学校教育課 (0954 - 66 - 9128) まで

◎嬉野市内小中学校連絡先 (各小中学校でもご相談できます)

○五町田小学校	☎0954 - 66 - 2063	○久間小学校	☎0954 - 66 - 2204
○塩田小学校	☎0954 - 66 - 2057	○嬉野小学校	☎0954 - 43 - 1238
○轟小学校	☎0954 - 43 - 1349	○大野原小学校	☎0954 - 43 - 0807
○吉田小学校	☎0954 - 43 - 9314	○大草野小学校	☎0954 - 43 - 1338
○塩田中学校	☎0954 - 66 - 2030	○嬉野中学校	☎0954 - 43 - 0244
○大野原中学校	☎0954 - 43 - 0807	○吉田中学校	☎0954 - 43 - 9321



# 嬉野市における就学までの流れ

## 【保護者が行うこと】

○6月上旬

第1回就学相談(状況の把握)  
・お子さんの状況や保護者の意向をお伺いします

○8月下旬

第2回就学相談(総合的判断)  
・保護者の意向の確認    ・専門家の意見

○9月14日～16日

※特別支援学校への就学を考えておられる保護者は、特別支援学校の「転入学相談」を受ける必要があります

新入学児検診(各小学校)

○11月中旬

嬉野市就学支援委員会  
(本人に適した学びの場の判断)

○12月31日  
まで

判定の結果のお知らせ

特別支援学校への就学が適当  
(★12月31日までに手続きを完了)

公立小学校への就学が適当  
(通常学級・通級指導教室・特別支援学級)

○1月

特別支援学校への入学通知  
(県教育委員会から保護者へ)

小学校への入学通知  
(市教育委員会から保護者へ)

○2月

転入学説明会  
(各特別支援学校)

保護者説明会  
(各小学校)

移行支援会議  
(各学校で実施)

○4月

入学式

入学式

・必要であれば学校見学  
・自閉症、情緒障害支援学級を考慮されている場合は、**診断書**の取得  
・通級を考慮されている場合は**個別の発達検査結果**の取得

新入学児検診時に、希望する「学びの場」の最終確認  
※希望したからといって必ず入級、通級できるとは限りません。

手続き  
・特別支援学級に決定した場合は、12月中旬までに書類提出。  
・通級指導教室は4月入学後に担当から連絡有

説明会への参加

会議への参加  
・保護者と学校で必要な支援内容の確認

入学後も丁寧な教育相談や支援を行います！

